

## ① 平山栄十翁誕生の地

～人々を助けるためにがんばった、りっぱな庄屋さん～

平山栄十は、坂井喜右衛門の二男として西与賀厘外西に生まれる。庄屋の平山家の養子となり平山家をつぐ。和雄と号す。和歌をよきし万延元年(1860)6月庄屋の職に推挙される。村政の経営にはげむ事、数十年村のために善政をしいたのである。また文久2年(1862)5月、麻疹が村中に流行するや、自分の田を売却して村民を苦難より救うこともしばしばであった。また、副島種臣が、長崎遊学にもえていた時、家が赤貧であったので、養父利忠は思い悩みの末、庄屋であった平山栄十翁に学資を相談されたところ、こころよく承諾されたということである。平山家の菩提寺は長勝寺にある。毎年1月15日には翁の記念碑祭が開催されている。